

制限の中でもできることを

合志楓の森中学校 3年 寺山 瑠莉

私が通っている中学校は、開校して2年のとても新しい学校だ。前の中学校から1年間で移ったため、友達と離れるなど大きく環境が変わった。通い始めた頃は複雑な気持ちだったが、少しずつ新しい友達もでき、なれていった。

開校したばかりの学校で歴史がなく、イベントなどを行うにしても「去年はこうだった」という前例がない。そのため一から考え、たくさん話し合っただけで決めていくしかなかった。

そのことを強く感じたのが委員会活動だ。私は委員長として1年間の計画を立てるのに、休み時間、放課後、休みの日とたくさん時間をかけた。

ところが、そんな計画のほとんどを実現することができなかった。なぜならコロナウイルスの影響で、クラスを半分に分ける分散登校などの対策が取られたためだ。

考え抜いて作った計画を一瞬にして崩され、とても悔しく、苦しい思いだった。しかし制限の中でもできることを考え、「オンラインならできるのではないか」など状況に合うように変更し、実行した。

この経験から私は臨機応変に対応する力を身につけることができたと思う。これを活かして、これからも高校などで活動していきたいと思う。

(2023.03.11 熊本日日新聞朝刊 読者ひろば・若者コーナーに掲載)